

美しいむらづくりネット



the most beautiful
villages
in japan

編集 馬瀬地方自然公園づくり委員会 情報発信チーム 0576-47-2111

発行 No. 1 平成20年9月10日

岐阜県・下呂市の支援を受けて

馬瀬地方自然公園づくり委員会設立

馬瀬では地域づくりのための住民活動として「馬瀬地方自然公園づくり」が進められてきました。この活動は三年前に設立された「馬瀬地方自然公園・住民憲章推進協議会」が中心となって行われてきました。今後の活動により広く地域の皆様の意見を取り入れるため、市や県の支援と助成金を受け、よりよい自然公園づくりのための計画づくり委員会が発足いたしました。

「自然公園づくり」のイメージがみえませんが・

馬瀬には美しい自然がいっぱいあります。と言っても具体的にどこが？どのように？と応えるのは難しいですね。まずそのことから取り組み、ではその美しい自然財産をどのように守り活用すればいいかを考えようということです。

そのような協議会があるのになぜ今、

委員会が発足したのですか？

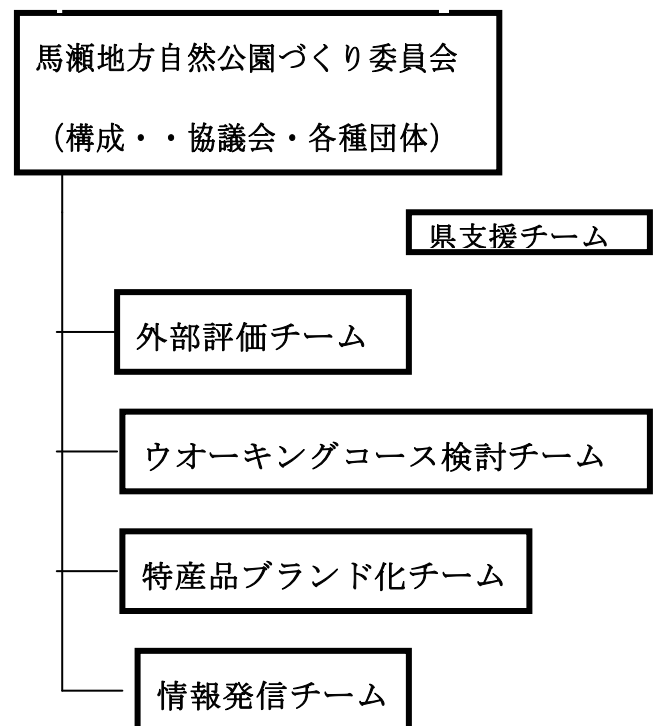
そのために今日までどのようなことが

なされてきたのでしょうか？

三年前に市の委嘱を受けたメンバーで「馬瀬地方自然公園・住民憲章推進協議会」が設立されました。ちよつと長くて分りづらい名称ですが（今後、協議会とします）、馬瀬地方が今後も豊かな地域として残っていくためには今なにをすればいいか、するべきかについて考え、活動してきました。

具体的な活動として三カ年計画を立て、馬瀬地域の見直しを直接自分たちの目で、足で確認しました。そして巨木の調査、ハイキングマップの作成、林年宏さんの写真を使ったポスター作成、観光客にも「馬瀬自

委員会構成図



協議会と委員会とはどのような関係ですか？

委員会は幅広いメンバーから多面的な意見が得られます。委員会は協議会の今後の活動に対しての支援、協力体制を整える上での大切な場です。委員会では四つの活動課題を決め、部会を作り課題の研究と協議を進めています（図参照）。県からの支援チームのメンバーも加わり活動しています。次号では部会の取り組みについて紹介いたします。

しゅぶやき



委員会のこと、協議会のことを皆様知っていただきたいと試行錯誤の結果、このような紙面になりました。とにかく読んでみてください。そして疑問に思われましたことやご意見を私たちまでお伝えください。「美しいむらづくり」のために……。

座談会 馬瀬地域全体をみわたして 助言が出来る立場をめざして！

小池会長・森本副会長に川口委員が聞きました。



★ 小池会長は「馬瀬地方自然公園づくり」にはずっと関わってこられました。この構想のきっかけは何だったのですか？

☆ 馬瀬村が町村合併するとき今まで馬瀬独自に取り組んで来たことがうやむやになってしまっ

心配がありました。その中で「フランスの視察」に伴う取り組みを

「自然公園づくり」へと拡大し、村全体で取り組もうと考えたのが協議会設立に繋がったのです。

よその町村では合併後にこのよくなこのような動きはあまりされていなかった。マスコミなどに評価されました。

★ 地域外からは評価されましたが、住民にはどうでしょう？

☆ それは中々難しいですね。馬瀬独自の活動が廃れ活性化への危機感は区長会などでもありますが、それが一般住民にまで広がっていくことを期待しているのですが。

☆ このような事ではないでしょうか。住民が楽しんで生活している。それを個から全体に広げると言う意識がこ

の活動の原点になっているのではないのでしょうか？

☆ 例えば、今川遊びが出来るところはいろいろな制限が

れています。この事を住民は何も意識していません。今の時代にとってはとてもめずらしいことなんですね。この川遊びが出来てくることを内にも外にも知らせていくことが一つの馬瀬の魅力を情報発信することになると思うのです。

★ 「協議会」は馬瀬地域を守るためにいつも全体を見渡して助言できるようにな

馬瀬地方自然公園づくり委員会名簿

◎ 責任者 ○ 副責任者

氏名	所属団体	所属部会
小池永司	協議会	会長・◎ウォーキングコース検討チーム
無笹 聡	協議会	○ウォーキングコース検討チーム
小林喜久寿	協議会	ウォーキングコース検討チーム
川口昭八郎	協議会	ウォーキングコース検討チーム
高瀬良夫	馬瀬自治会連合	ウォーキングコース検討チーム
加藤久人	協議会	◎外部評価チーム
二村ミナ子	協議会	○外部評価チーム
石丸佐太三	南飛驒馬瀬川観光協会	外部評価チーム
小林 学	協議会	会計・外部評価チーム
中川 護	協議会	外部評価チーム
老田達男	協議会	◎特産品ブランド化チーム
山本さとみ	協議会	○特産品ブランド化チーム
細江ちか子	さんまぜ工房	特産品ブランド化チーム
森本富美子	協議会	副会長・特産品ブランド化チーム
二村悌彦	馬瀬商工会	特産品ブランド化チーム
森 正	馬瀬里づくり委員会	特産品ブランド化チーム
田中義春	馬瀬川上流漁業協同組合	特産品ブランド化チーム
中川鏑一	協議会	◎情報発信チーム
川口恵里子	協議会	○情報発信チーム
瀬古純子	協議会	情報発信チーム
二村寿喜男	馬瀬宿屋組合	情報発信チーム
尾里集務	協議会	情報発信チーム
野村東雄	南飛驒森林組合	情報発信チーム



ですね。

☆ そうですね。そして「委員会」は協議会委員や諸団体、行政も含めて共通の意識を持つための集まりであって、住民や諸団体等の共通の窓口になればと思っています。

★ 何とか住民の皆さんにこの思いが伝わり、住民全体の活動にまで広がってほしいですね。

☆ あせらず、ゆつくり、住民の皆さんの理解と参加を得られるように努力していきたいと思っています。